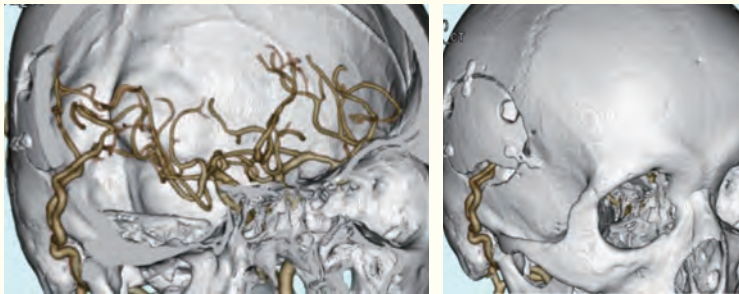


地域医療連携ニュース

vol. 9

『虚血性脳血管障害に対する
新しい治療』

脳神経外科 部長 諏訪 英行



平素より多くの患者様をご紹介いただき誠にありがとうございます。当院脳神経外科では脳に限らず、脊髄、末梢神経までの外科治療を行っており、これまでご紹介いただいた患者様の中には手術適応となる方が多く含まれておりました。これもひとえに病診連携の賜物と感謝しております。さて今回は、最近注目されております急性期脳梗塞の治療につきまして、当科が昨年より取り組んでおります兵庫医科大学病院脳神経外科との迅速な連携治療についてご報告させていただきます。

一般的に脳梗塞の治療は再発予防に重きが置かれるため、内科的治療が主になりますが、一部の例では予防治療として頸動脈内膜剥離術やバイパス術の適応となることがあり、当科ではこれまでも適応症例に対しては外科治療を行ってまいりました。一方、脳梗塞急性期により積極的な治療を行う方法としてtPA（アルテプラゼ）点滴による血栓溶解療法が認可され、その治療適応時間も発症3時間から4.5時間以内と延長されました。当科でも昨年より兵庫医科大学病院脳神経外科の関連施設となり、常勤医として1名が派遣され、tPAの治療が可能となりました。さらに、兵庫医科大学病院脳神経外科においては血管内治療のエキスパートである吉村紳一教授が就任され、より積極的な急性期脳梗塞の治療が開始されました。これは、全国に先駆けて行われている民間病院（当院）と脳卒中センター施設（兵庫医科大学病院）との連携治療となります。

一連の治療は次のようになります。

1. 病院搬送，診断と治療方針の決定

病歴聴取，MRI画像検査，血液検査，神経学的検査などを行い，治療方針を決定します。次に血栓溶解療法の適応となった場合，tPAの点滴を開始します。

2. tPA（アルテプラゼ）点滴治療，さらに Drip & Ship

tPA点滴で回復すればよいのですが，血栓がすべて溶解するとは限りません。そこで，主幹動脈閉塞がある例ではtPA，脳保護剤であるエダラボンを点滴（Drip）しながら兵庫医科大学病院へ院内救急車にて搬送（Ship）します。兵庫医科大学病院血管内治療チームが，必要に応じて血管内治療を施し血栓回収（Retrieve）を行い，主幹動脈の再開通を図る，というものです。その後，状態が落ち着けば当院へ戻り，保存的治療，リハビリテーションを継続します。

急性期の脳梗塞治療はまさに時間との戦いで，再開通までの時間を如何に短縮できるかが，患者様の機能予後大きく左右する因子となります。我々の使命は，当科で治療を完結できる例と搬送すべき例を振り分け，迅速に次のステップに移ること，即ち『drip & ship』の時間短縮を図ることです。今年度からは兵庫医科大学の協力を頂きながら，24時間365日の急性期脳卒中診療体制をとることができるようになりました。これにより，急性期脳梗塞の治療を迅速に行えるようになり，障害程度の軽減や社会復帰の頻度も増えてくるものと期待しております。

先生方には，是非とも脳神経症状がみられましたら，診療情報の提供は後追いで結構ですので，直ぐに千船病院に搬送して頂ければ幸いです。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

平成26年度 Drip & Ship 数（平成26年4月以降）

当院で Drip のみ	1例
当院で Drip，兵庫医大へ Ship	7例
Drip なしで兵庫医大へ Ship	8例

がん化学療法看護 認定看護師の役割

がん化学療法看護認定看護師 泉 純子

「いりょうのひろば11月号」をご覧の皆さま、こんにちは。私は、千船病院外来センター2階にある外来化学療法室で勤務しております看護師の泉純子と申します。皆さまもご存知かと思いますが、『化学療法』というのは、いわゆる抗がん剤治療のことです。少し前までは、化学療法は入院して受けて頂くことが多かったのですが、副作用を抑える薬の開発などによって、最近では社会生活を送りながら、外来にて多くの化学療法を受けて頂くことが可能になりました。

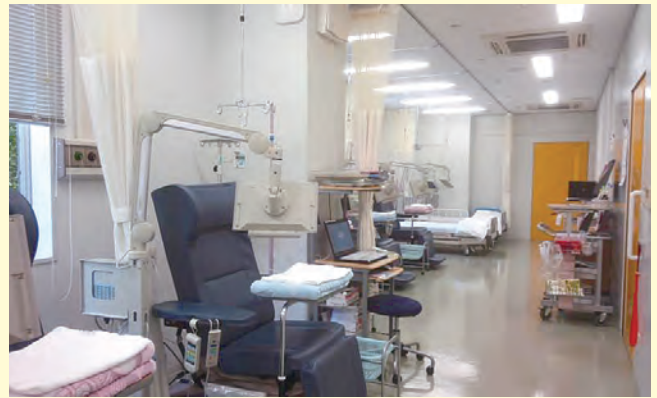
今回、『がん化学療法看護認定看護師』の役割についてご紹介致します。

がん化学療法看護認定看護師の役割の中で特に重要なものは、

- ①「化学療法薬の安全な取り扱いと適切な投与管理」
- ②「副作用症状の緩和およびセルフケア支援」



となります。
がん化学療法に用いられる薬は、一般の薬と異なる投与方法や取り扱いが必要となりま



す。患者さまに確実な化学療法が提供できるよう、安心して治療を受けて頂けるように環境を整えております。更に化学療法には、一般の薬に比べると様々な副作用を伴います。副作用というと吐き気や脱毛をイメージされる方も多いと思いますが、その他にも下痢や皮膚障害など、化学療法に用いられている薬によって様々な症状が見られます。患者さまに応じて、副作用を緩和するための日常生活での工夫や予防方法などについて紹介させて頂いております。

患者さまやご家族の皆さまが安全に、安楽に、安心して化学療法を受けられるよう、支援させて頂きたいと考えております。がん化学療法看護に関するお問い合わせ等がございましたら、当院地域医療科までお気軽にお問い合わせ下さい。

INFORMATION

看護部 平成26年度 新人看護職員受入研修の開催案内

新人看護職員の研修を当院の新人看護職員と共に受講いただけるように、看護職員受入研修を開催しております。参加をご希望される方は千船病院看護部までご連絡ください。

(千船病院 代表 TEL：06-6471-9541 看護部長室：井上)

平成26年度 新人看護職員研修予定	
日時	主な内容
12月9日(火)、10日(水) 15:00~16:00	12誘導心電図と心電図モニター
1月13日(火)、14日(水) 15:00~16:00	救急看護 BLS ① (基本技術の習得)
2月17日(火)、18日(水) 15:00~16:00	救急看護 BLS ① (事例展開)
3月 15:00~16:00	まとめの会

社会医療法人愛仁会 千船病院

大阪市西淀川区佃2丁目2-45
TEL 06-6471-9541(代表)
06-6473-9765(地域医療科)
FAX 06-6474-0161(地域医療科)
<http://www.chibune.ajinkai.or.jp/>



理念

千船病院(千船腎臓・透析クリニック)は医療を通じて社会に貢献します

基本方針

- ・患者さまに質の良い医療を提供します
- ・患者さまに安心と満足の頂ける公正な医療を提供します
- ・患者さまのプライバシーと権利を守ります
- ・開放型病院としての役割を自覚し効率の良い地域医療を提供します